

健康科学科

大澤 功

B(論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Is waist circumference an accurate index to evaluate obesity for the diagnosis of metabolic syndrome in the Japanese population?	共著	2013年3月	Nagoya Med J, 53巻2号	Hosono A, Sato J, Shibata K, Kojima M, Nagaya T, <u>Ohsawa I</u> , Suzuki S	pp.39-50
2. 運動療法を開始し, 継続につなげる指導方法.	単著	2013年6月	月刊 糖尿病. 6月号	大澤功	pp.79-85
3. Study on the risk factors of injuries resulting in hospitalization in primary school students.	共著	2013年6月	School Health, 9巻	Shimomura J, Morita I, Nakagaki H, <u>Ohsawa I</u> , Sato Y	pp.33-44
4. 大学生における口腔保健に関する意識.	共著	2013年9月	東海学校保健研究, 37巻1号	古川絵理華, 糠谷敬子, 大澤功	pp.19-27
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 学生に対する総合的な禁煙指導プログラムの試み～受動喫煙防止活動からの発展～.	共著	2013年2月	CAMPUS HEALTH, 50巻1号	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 前田彰, 宇野智子, 北村洋子, 大澤功	p.373
2. 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える(第2報)～復学支援モデルの構築の試み～.	共著	2013年2月	CAMPUS HEALTH, 50巻1号	前田章, 外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子, 篠田瑛子, 横木由美子, 大澤功	p.529
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットのインスリン抵抗性における自発走運動と防風通聖散の併用効果.	学会発表	2012年10月	第33回日本肥満学会, 京都	小林亮平, 宇野智子, 大澤功, 佐藤祐造	
2. 心の問題を抱えた学生の復学支援を考える(第2報)～復学支援モデルの構築の試み～.	学会発表	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	前田章, 外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子, 篠田瑛子, 横木由美子, 大澤功	
3. 学生に対する総合的な禁煙指導プログラムの試み～受動喫煙防止活動からの発展～.	学会発表	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 前田彰, 宇野智子, 北村洋子, 大澤功	
4. 修学支援・その他	一般研究発表 座長	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	大澤功	
5. 運動と心の健康増進, ストレスアセスメントと対処法(喫煙問題を含む).	講師	2012年11月	平成24年度健康運動指導士養成講習会	大澤功	
6. 私立大学大規模校における学生支援のあり方(第3報)～入学時健康調査票を用いた修学支援～.	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 大澤功	
7. 小学生の顔面負傷の特徴.	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	野々山順也, 森田一三, 中垣晴男, 下村淳子, 大澤功, 佐藤祐造, 柘植紳平	

8. ピア・サポートプログラムが高校生の精神健康(GHQ)に及ぼす効果.	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	近藤充代, 大澤功	
9. 青年期における口腔保健に関する研究(第1報)―大学生の歯科健診結果と生活習慣, 歯科保健行動等との関連の検討―.	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	古川絵理華, 森田一三, 糠谷敬子, 大澤功	
10. 困難に立ち向かう心をはぐくむ―ポジティブ心理学から―.	特別講演座長	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	大澤功	
11. 大学における健康管理から地域医療を考える.	話題提供者	2013年1月	愛知県医師会総合政策研究機構平成24年度第10回「意見交換会」, 名古屋	大澤功	
12. 糖尿病患者の運動実施に与える影響因子に関する検討.	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会, 名古屋	荒川聡美, 渡邊智之, 小林亮平, 服部雅人, 池山将成, 内藤正和, 水藤弘吏, 長崎大, 大澤功, 齊藤満, 佐藤祐造	
13. 小学校5, 6年生児童の喫煙, 受動喫煙に対する意識と社会的ニコチン依存度.	学会発表	2013年3月	第3回日本小児禁煙研究会学術集会, 奈良	稲垣幸司, 亀井英彦, 野口俊英, 森田一三, 家田重晴, 磯村毅, 魚住君枝子, 大澤功, 谷口千枝, 山口幸伸, 遠藤明, 大谷哲也, 吉井千春, 加濃正人	
14. 2型糖尿病患者に対する DPP-4 阻害薬服用と脂質検査値の変化について.	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	後藤慎一, 佐々木洋光, 服部芳明, 岡田由紀子, 松田淳一, 渡邊有三, 大澤功, 尾崎信暁, 小池晃彦, 押田芳治	
15. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第三報)―糖尿病患者の運動療法に実施に影響を与える因子について―.	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	荒川聡美, 渡邊智之, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大澤功, 田村好史, 佐藤祐造	
16. 糖尿病療法指導(フットケア)	ポスター発表座長	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	大澤功	
17. 女子大学生の月経異常に関する研究(第1報)―健康診断時の月経異常調査―.	学会発表	2013年9月	第56回東海学校保健学会, 刈谷	糠谷敬子, 古川絵理華, 外ノ池隆史, 大澤功	
18. 養護教諭が行うピア・サポートプログラム, 8年間の実践―支援活動の広がり可能性・サポーターの成長―.	学会発表	2013年9月	第56回東海学校保健学会, 刈谷	近藤充代, 大澤功	

城戸裕子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. イラストでみる介護福祉用語事典 第5版	共著	2012年10月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	
2. 第26回社会福祉士国試対策14' 専門科目編	共著	2013年5月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	pp.241-309

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. オーストラリア・カナダ・アメリカにおける障害者研究	共著	2012年12月	リハビリテーション研究 第42巻第3号	小佐々典靖, 城戸裕子	pp.32-35
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 平成24年度 認知症講座 「認知症の理解・支援を学ぶ」	講師	2012年10月	直江津学びの交流館 (新潟県上越市)		
2. 地域就労支援ネットワークの形成過程と活動の評価方法	学会 発表	2012年11月	第20回職業リハビリテ ーション研究発表会 至 幕張メッセ	小佐々典靖, 城戸裕子, 万真雅	
3. 新潟県介護福祉士会 上越ブロック研修会 「バランスのとれた体づくり」	講師	2013年3月	上越市福祉交流プラザ		
4. 住民の望む地域生活に対する意識について ～地域での医療福祉サービスの在り方の課題～	学会 発表	2013年9月	日本社会福祉学会 至 北星学園大学	城戸裕子, 小佐々典靖	

齊藤 満

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健康・運動の科学	共著	2012年5月	講談社サイエンティフ ィク	田口貞善編著	pp.140-146
2. 身体運動と呼吸・循環機能	共著	2012年8月	真興交易(株)医書出版部	宮村実晴編著	pp.292-300
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Muscle sympathetic nerve activity during intermittent handgrip exercise	共著	2012年12月	J Sports Med Phys Fitness Vol.52	Hachiya T, Aizawa S, Blaber A.P, Saito M.	pp.665-673
2. Hypoxic effects on sympathetic vasomotor outflow and blood pressure during exercise with inspiratory resistance	共著	2013年3月	Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol Vol. 304	Katayama K, Yamashita Y, Ishida K, Iwamoto E, Koike T, Saito M.	pp.R374- R382
3. The effect of acute exercise in hypoxia on flow-mediated vasodilation	共著	2013年7月	Eur J Appl Physiol Vol.113	Katayama K, Fujita Osamu, Iemitsu M, Kawano Hiroshi, Iwamoto E, Saito M, Ishida K.	pp.349-357
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 第10回東海体力医学会学術集会大会	大会 会長	2013年3月	第10回東海体力医学会 学術集会大会 愛知学 院大学楠元キャンパス	齊藤満	
2. Effects of inspiratory resistive breathing in hypoxia on sympathetic outflow and blood pressure during exercise.	学会 発表	2013年5月	60th ACSM Annual Meeting and 4th World Congress on Exercise is Medicine. Indianapolis, Indiana USA	Keisho Katayama, Shin Yamashita, Koji Ishida, Erika Iwamoto, Teruhiko Koike, Mitsturu Saito.	
3. 持久能鍛錬者と非鍛錬者の異なる運動負 荷における性ホルモン濃度変化の比較	学会 発表	2013年7月	日本体育学会第64回大 会 立命館大学草津キ ャンパス	佐藤幸治, 家光素行, 片山敬章, 石田浩司, 金尾洋治, 齊藤満	

4. 低酸素環境における吸気抵抗の増加が循環応答へ及ぼす影響	学会発表	2013年9月	第68回日本体力医学会大会 日本教育会館 東京	片山敬章, 山下晋, 石田浩司, 岩本えりか, 小池晃彦, 齊藤満	
--------------------------------	------	---------	-------------------------	-----------------------------------	--

佐藤祐造

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学(番組制作スタッフ編): 生活習慣病の新事実 その①太っていなくても危険な第三の脂肪の存在 ふだんの生活を変えずに「第三の脂肪」を減らすには?	単著	2012年10月	幻冬舎		pp.64-65
2. たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学(番組制作スタッフ編): メタボ体質の改善 脈拍100-120ウォーキングで内臓脂肪を劇的に減らす	単著	2012年10月	幻冬舎		pp.149-150
3. 新・学校医手帳(編集:伊藤宣夫, 吉田貴, 稲坂博, 長嶋正實, 佐藤祐造)	共著	2013年3月	愛知県医師会		pp.1-212
4. “治せる”医師を目指す 疾患・症状別はじめての漢方治療—原典条文と最新エビデンスに基づいた漢方医学実践(編集:後山尚久): 各論 内科 内分泌・代謝科 18. 肥満・メタボリックシンドローム	共著	2013年5月	診断と治療社	宇野智子, 佐藤祐造	pp.82-85
5. “治せる”医師を目指す 疾患・症状別はじめての漢方治療—原典条文と最新エビデンスに基づいた漢方医学実践(編集:後山尚久): 各論 内科 内分泌・代謝科 19. 糖尿病	共著	2013年5月	診断と治療社	宇野智子, 佐藤祐造	pp.86-91
6. 内科学第10版(総編集者:矢崎義雄): リハビリテーションと運動療法	単著	2013年6月	朝倉書店		pp.141-144
7. たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学 発見! 血糖値を下げる新常識: 血糖値を下げる運動の新・常識大公開!	単著	2013年9月	学研パブリッシング		p77, pp.87-95
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 中学校および高等学校における球技による顔部負傷の特徴	共著	2012年9月	東海学校保健研究, 36巻1号	野々山順也, 森田一三, 下村淳子, 大澤功, 佐藤祐造, 柘植紳平, 中垣晴男	pp.55-62
2. 特集 エネルギー代謝の臨床 身体活動・運動とエネルギー代謝: 身体活動量の計算方法・METS・PAL	共著	2012年10月	内分泌・糖尿病・代謝内科, 第35巻4号	長崎大, 佐藤祐造	pp.309-315
3. 特集 糖尿病診療のための実践的運動療法 III. 運動療法の基本 糖尿病運動療法指導マニュアル	単著	2012年11月	糖尿病診療マスター, 第10巻7号		pp.586-589
4. 特集 虚弱老人と漢方 II 高齢者糖尿病の漢方治療	共著	2012年11月	漢方と最新治療, 第21巻4号	宇野智子, 佐藤祐造	pp.305-311
5. 日本養護教諭教育学会設立20周年を祝す	単著	2012年12月	日本養護教諭教育学会学会設立20周年記念誌		p.17
6. Invited Review: Clinical aspects of physical exercise for diabetic patients: theory and practice.	単著	2012年12月	The Showa University Journal of Medical Sciences.24巻4号		pp.259-271

7. 医歯薬看心身系の大学連携による生活習慣病予防教室の効果—第3回東名古屋健康カレッジ—	共著	2012年12月	愛知学院大学心身科学部紀要, 第8号	小林亮平, 内藤正和, 齊藤大蔵, 長崎大, 加藤宏一, 佐久間清美, 森圭子, 吉川吉美, 長田孝司, 山村恵子, 福田光男, 中垣晴男, 佐藤祐造	pp.29-35
8. 巻頭言 老年人口の生産年齢人口化	単著	2013年1月	Aging & Health. 21巻4号		p.5
9. 老化防止と漢方	単著	2013年1月	漢方の臨床, 60巻1号		pp.44-45
10. 会報 日本学校保健学会の一般社団法人化(非営利型)	単著	2013年2月	学校保健研究, 54巻6号		p.545
11. あるふぁ随筆 高齢者こそ活発な日常生活を	単著	2013年2月	ALPHA CLUB. 368号		p.1
12. 2型糖尿病患者の食事療法における米粒状加工食品(マンナンヒカリ)の有用性に関する検討	共著	2013年2月	日本体質医学会雑誌, 75巻1号	宇野智子, 佐藤祐造	pp.42-45
13. 空腹感の頻度と食行動に関する検討	共著	2013年2月	日本体質医学会雑誌, 75巻1号	仲森隆子, 都島基夫, 渡邊智之, 森圭子, 佐藤祐造	pp.46-53
14. A 県 T 市における肥満傾向児出現率の学校間較差と生活習慣との関連性	共著	2013年3月	心身科学, 5巻1号	大須賀恵子, 酒井映子, 梅田稔, 佐藤祐造	pp.7-16
15. 児童の6ヶ月間の発育状況と生活習慣との関連—体重増加群と体重増加不良群との比較—	共著	2013年3月	心身科学, 5巻1号	酒井映子, 大須賀恵子, 中根恭子, 佐藤祐造	pp.73-81
16. 防風通聖散が Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) ラットのインスリンシグナル伝達系のタンパク量に及ぼす影響	共著	2013年3月	心身科学, 5巻1号	小林亮平, 庄秋栄, 長崎大, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.17-22
17. 増えない野菜摂取増に向けての研究—カット野菜について—	共著	2013年3月	心身科学, 5巻1号	森圭子, 宮田真依子, 国枝紗希, 伊藤里美, 久世訓, 高林慶子, 佐藤祐造	pp.83-93
18. 米飯の食後血糖に及ぼす牛乳・納豆の摂食時刻	共著	2013年3月	心身科学, 5巻1号	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.63-71
19. 座談会 全国大学保健管理協会と全国大学保健管理研究集会の半世紀	共著	2013年3月	CAMPUS HEALTH. 50巻1号	司会: 守山敏樹, 伊東宏, 出席者: 渡辺久雄, 山本公弘, 佐藤祐造, 佐々木大輔	pp.127-138
20. JPFSM Review Article: Molecular signaling mechanisms that mediate exercise training effects on insulin sensitivity.	共著	2013年3月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine. 2巻1号	Nagasaki M, Shimomura Y and Sato Y	pp.117-119
21. Current situation of clinical trials in Beijing and Shanghai, China.	共著	2013年5月	International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics. 51巻5号	Yoshida Y, Xue D, Yoshida Y, Zhang Y, Ma D, Sato Y and Wang P	pp.433-440
22. 脂質異常症の最新情報(III) 具体的運動療法	単著	2013年5月	ドクターサロン, 57巻6号		pp.446-450
23. 体力科学 Q. 内臓脂肪燃焼に効果的な有酸素運動の方法	単著	2013年6月	日本医事新報, 第4651号		pp.68-69
24. 巻頭言 スポーツ医科学の今後の展望	単著	2013年6月	デサントスポーツ科学, 34巻		pp.2-3

25. 第三の脂肪をカンタン減量！3日で危険な筋細胞内脂肪を減らせる！	単著	2013年6月	素敵なカントリー7月号別冊 たけしの健康エンターテインメント！みんなの家庭の医学. 3巻		pp.86-87
26. 米飯の食後血糖上昇に及ぼす牛乳たんぱく質・脂質の影響	共著	2013年7月	日本病態栄養学会誌. 16巻2号	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.191-198
27. 糖尿病の三大療法②運動療法 UP-TO-DATE	共著	2013年8月	看護技術. 59巻9号	北村伊都子, 佐藤祐造	pp.21-27
28. Study on the risk factors of injures resulting in hospitalization in primary school students.	共著	2013年8月	School Health. 9巻	Shimomura J, Morita I, Nakagaki H, Ohsawa I and Sato Y	pp.33-44
29. 特集 糖尿病—深化する疾患コンセプト 糖尿病の漢方治療—最新のエビデンス—	共著	2013年9月	カレントセラピー. 31巻9号	宇野智子, 北村伊都子, 佐藤祐造	pp.971-976
30. 特集 糖尿病運動療法—今すぐできる工夫と今後の課題— 日本における糖尿病運動療法の現状と今後の課題	単著	2013年9月	プラクティス. 30巻5号		pp.562-568
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 数字が語る身体の「危険信号」 テレビを6時間見る人の寿命が4.8年短くなる 糖尿病に	単著	2012年7月	週刊新潮. 57巻25号		pp.50-51
2. 特集 間違いだらけの「健康常識」夏バテ編「粗食」「断食」「デトックス」大ブームの落とし穴 断食でブヨブヨに	単著	2012年9月	週刊新潮. 57巻35号		pp.42-47
3. 暮らしの泉 Health 大豆は健康食品	単著	2012年9月	INFORMO. 74巻		p.8
4. 生活習慣病と向き合う〔血糖値編〕③血糖コントロールに効果的な食生活	単著	2012年11月	ひとつぶ日和. 11月号		pp.8-10
5. 山吹隆寛教授のご冥福をお祈り申し上げます	単著	2012年11月	上医は未だ病まざるの病を医す—山吹隆寛先生追悼集〔1924-2012〕		p.100
6. 暮らしの泉 Health 健康寿命を延ばす	単著	2012年12月	INFORMO. 75巻		p.16
7. 「在野に輝いた巨星」広瀬滋之氏を偲ぶ会 日本東洋医学会東海支部のメンバーが中心となって開催	単著	2012年12月	漢方医薬新聞. 第522号		p.3
8. 生活習慣病と向き合う血糖値対策編 年未年始の血糖コントロール術	単著	2013年1月	ひとつぶ日和. 1月号		pp.10-12
9. 続けよう！受診防ごう！合併症～糖尿病治療は、根気と継続～(愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課生活習慣病対策グループ)	単著	2013年2月	リーフレット		pp.1-6
10. 生活習慣病と向き合う血糖値対策編 ストレスと上手につきあう	単著	2013年3月	ひとつぶ日和. 3月号		pp.10-12
11. 暮らしの泉 Health 「健康日本21」の最終評価	単著	2013年3月	INFORMO. 76巻		p.8
12. 「日本学校保健学会」が一般社団法人化	単著	2013年3月	教育医事新聞. 第343号(3/25付)		p.7
13. 生活習慣病と向き合う血糖値対策編 糖尿病と歯周病の深い関係	単著	2013年5月	ひとつぶ日和. 5月号		pp.10-12
14. 暮らしの泉 Health 盆踊り	単著	2013年6月	INFORMO. 77巻		p.8
15. 生活習慣病と向き合う血糖値対策編 夏の血糖コントロール	単著	2013年7月	ひとつぶ日和. 7月号		pp.10-12
16. 生活習慣病と向き合う血糖値対策編 糖尿病の合併症～糖尿病神経障害編～	単著	2013年9月	ひとつぶ日和. 9月号		pp.10-12
17. 暮らしの泉 Health 身体活動のすすめ	単著	2013年9月	INFORMO. 78巻		p.8

18. 特集「医学博士」が提唱する奇抜で突飛な「健康法」は信じられるか？	単著	2013年9月	週刊新潮, 9月19日号		p.40
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 流行マックス「ソイカラ」	テレビ	2012年6月	CBC制作「花咲かタイムズ」, 名古屋	佐藤祐造	
2. 内臓の間にたまり, 万病のもとになる内臓脂肪は運動をすることで減らすことができます。では内臓脂肪を減らす効果が高い運動法は？	ゲーム	不明	「たけしの健康エンターテイメント・みんなの家庭の医学」(ゲーム版)	監修: 佐藤祐造	
3. 日本の糖尿病患者に対する運動療法の現状	講演会	2012年10月	日本と中国における臨床試験の現状などに関するシンポジウム, 名古屋	佐藤祐造	
4. アジア治験ネットワークに向けた中国における臨床試験の現状について	座長	2012年10月	第6回医薬品や医療機器などの開発における臨床試験(治験)の実施の在り方に関する研究会, 名古屋	佐藤祐造	
5. 「健康寿命を延伸するための方法」参加前の形態測定, 血液生化学検査	講演会	2012年10月	なごや健康カレッジ～誰でもできる!メタボ解消の正しい方法～, 名古屋	佐藤祐造	
6. 特別講演「平成25年度からの生活習慣病対策～特定健診・保健指導, 第2次健康日本21の方向性～」	座長	2012年10月	第2回アディポネクチン講演会, 名古屋	佐藤祐造	
7. 愛知県の糖尿病治療中断者の減少に向けた取り組み	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	川崎和彦, 稲葉明穂, 吉田宏, 服部健治, 佐藤祐造	
8. 肥満児童の6ヵ月間の発育状況と生活習慣との関連	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	酒井映子, 大須賀恵子, 佐藤祐造	
9. 定期健康診断後6ヵ月間における体重増加不良児童の体型と日常生活習慣との関連	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	大須賀恵子, 酒井映子, 中根恭子, 佐藤祐造	
10. 増えない野菜摂取増に向けての研究—カット野菜について	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	森圭子, 佐藤祐造	
11. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットのインスリン抵抗性における自発走運動と防風通聖散の併用効果	学会発表	2012年10月	第33回日本肥満学会, 京都	小林亮平, 宇野智子, 大澤功, 佐藤祐造	
12. 教育講演「肥満症と運動療法—肥満症治療におけるレジスタンストレーニングの意義—」	座長	2012年10月	第33回日本肥満学会, 京都	佐藤祐造	
13. 基調講演「メタボリックシンドロームへのアプローチ～食事・運動面を中心に～」	講演会	2012年10月	平成24年度健康づくり提唱のつどい((公)愛知県栄養士会), 名古屋	佐藤祐造	
14. シンポジウム「生涯を通じてのメタボ予防—ライフステージ別の対策とその役割—」	座長	2012年10月	平成24年度健康づくり提唱のつどい((公)愛知県栄養士会), 名古屋	佐藤祐造	
15. 特別セミナー「生活習慣病の予防: 食事・運動・お薬から—糖尿病を中心に—」	講演会	2012年10月	平成21年度文部科学省大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム「成長型ICT教材を用いた医歯薬看心身系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」第3回薬局における健康フェア, 瀬戸	佐藤祐造	

16. 座談会「全国大学保健管理協会と全国大学保健管理研究集会の半世紀」	座談会	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	司会：守山敏樹, 伊東宏, 出席者：渡辺久雄, 山本公弘, <u>佐藤祐造</u> , 佐々木大輔	
17. 座談会「全国大学保健管理協会と全国大学保健管理研究集会の半世紀」大学教員生活42年を振り返って	学会発表	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	<u>佐藤祐造</u>	
18. 生活習慣病(成人病)糖尿病(1)	講演会	2012年11月	平成24年度健康運動指導士養成講習会 後期愛知会場, 名古屋	<u>佐藤祐造</u>	
19. 生活習慣病(成人病)糖尿病(2)	講演会	2012年11月	平成24年度健康運動指導士養成講習会 後期愛知会場, 名古屋	<u>佐藤祐造</u>	
20. 愛知県医師会が医学部4年生へ「学校保健」を教授する目的	学会発表	2012年11月	平成24年度第43回全国学校保健・学校医大会第2分科会[からだ・こころ(2)]健康教育・生活習慣, 熊本	吉田貴, 稲坂博, 山崎嘉久, 長嶋正實, <u>佐藤祐造</u> , 柵木充明	
21. 理事長提言(第2回)「21世紀の学校保健活動」	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	<u>佐藤祐造</u>	
22. 愛知県医師会が行う医学部4年生へ「学校保健」教育—第一報—＜講義内容を中心に＞—	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	稲坂博, 吉田貴, 山崎嘉久, 長嶋正實, <u>佐藤祐造</u> , 柵木充明	
23.I 県 T 市全小学2年生における肥満傾向児出現率の学校間較差と生活習慣との関連	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	大須賀恵子, 酒井映子, <u>佐藤祐造</u>	
24. Insulin Signaling and Action 「Effects of traditional herbal medicine on in vivo insulin action in streptozotocin-induced diabetic rats.」	学会発表	2012年11月	9th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress & 4th Scientific Meeting of the Asian Association for the Study of Diabetes, Kyoto	<u>Khookhor O and Sato Y</u>	
25. Symposium “Exercise Therapy”	Chair	2012年11月	9th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress & 4th Scientific Meeting of the Asian Association for the Study of Diabetes, Kyoto	Chair: <u>Baldi C and Sato Y</u>	
26. Symposium “Exercise Therapy” Brief Overview: Current status and recent findings of exercise therapy in different countries.	学会発表	2012年11月	9th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress & 4th Scientific Meeting of the Asian Association for the Study of Diabetes, Kyoto	<u>Sato Y</u>	
27. Anti-diabetic Therapy-Diet and Exercise II 「Combination of the anti-obesity herbal medicine bofutushosan and physical exercise improves insulin sensitivity in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) rats.	学会発表	2012年11月	9th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress & 4th Scientific Meeting of the Asian Association for the Study of Diabetes, Kyoto	<u>Kobayashi R, Saito D, Nagasaki M, Uno T, Osawa T and Sato Y</u>	
28. 「これからの生活習慣づくり」(参加後の形態測定, 血液生化学検査)	講演会	2012年12月	なごや健康カレッジ～誰でもできる!メタボ解消の正しい方法～, 名古屋	<u>佐藤祐造</u>	

29.「生活習慣病の予防と運動」	講演会	2012年12月	第4回東名古屋健康カレッジ, 日進	佐藤祐造	
30. 生活習慣病の予防：栄養・運動面からのアプローチ	講演会	2012年12月	大塚製薬(株)名古屋支店社員勉強会, 名古屋	佐藤祐造	
31. 生活習慣病の予防：栄養・運動面からのアプローチ	講演会	2012年12月	平成24年度第3回春日井保健所管内栄養士会研修会, 春日井	佐藤祐造	
32.「きく！ラジオ」冬の運動療法	ラジオ	2012年12月	CBC ラジオ, 名古屋	佐藤祐造	
33.「杏林シンポジウム」脂質異常症の最新情報 運動療法の実際	ラジオ	2012年12月	ラジオ NIKKEI, 東京	佐藤祐造	
34. 特別講演「糖尿病の運動療法—理論と指導方法—」	講演会	2012年12月	第5回岐阜糖尿病療養指導研究会, 岐阜	佐藤祐造	
35. 老化防止に役立つ運動：生涯現役を目指して	講演会	2013年1月	平成24年度寿大学(清須市西枇杷島福祉センター), 清須	佐藤祐造	
36. 教育講演「食事療法と連携した運動療法の活用」	学会発表	2013年1月	第16回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	佐藤祐造	
37. 牛乳・納豆の米飯摂取の血糖上昇抑制効果—摂取時刻の検討—	学会発表	2013年1月	第16回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	末田香里, 奥田みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	
38. 年次別にみた生活習慣病ハイリスク者の糖質摂取状況と生活習慣要因との関連	学会発表	2013年1月	第16回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	酒井映子, 奥田みゆき, 末田香里, 佐藤祐造	
39. 運動療法の意義と実際	座長	2013年2月	第47回糖尿病学の進歩, 四日市	佐藤祐造	
40. メタボリックシンドロームへのアプローチ—食事・運動面を中心に—	講演会	2013年2月	日本食品保健指導士会関西支部平成24年度研修会, 大阪	佐藤祐造	
41. 糖尿病運動療法をめぐる最近の話題	講演会	2013年2月	第20回秋田県スポーツ医学研究会, 秋田	佐藤祐造	
42. 糖尿病患者の運動実施に与える影響因子に関する検討	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会, 名古屋	荒川聡美, 渡邊智之, 小林亮平, 服部雅人, 池山将成, 内藤正和, 水藤弘史, 長崎大, 大澤功, 齊藤満, 佐藤祐造	
43. シンポジウム「運動療法の今後の展望」	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会, 名古屋	服部雅人, 内藤正和, 小林亮平, 池山将成, 水藤弘史, 長崎大, 齊藤満, 佐藤祐造	
44. 糖尿病腎症診療の新しい展開	座長	2013年3月	平成24年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会, 名古屋	佐藤祐造	
45. シンポジウム「学校での救急処置について(AEDを含む)」	座長	2013年3月	平成24年度学校保健シンポジウム(愛知県医師会), 名古屋	長嶋正實, 佐藤祐造	
46. 教育講演「糖尿病の運動療法」	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	佐藤祐造	
47. シンポジウム「運動療法の今後の展望」	座長	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	佐藤祐造, 宇都宮一典	
48. シンポジウム「運動療法の今後の展望」運動療法の現状：運動療法調査研究委員会成績から	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	佐藤祐造	
49. シンポジウム「運動療法の今後の展望」下肢の運動器疾患を伴う患者に対する運動療法：チーム医療体制による実施	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	横地正裕, 吉田和仁, 渡邊智之, 佐藤祐造	

50. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第三報)―糖尿病患者の運動療法実施に影響を与える因子について―	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	荒川聡美, 渡邊智之, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 瀧美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大澤功, 田村好史, 佐藤祐造	
51. Dual 生体インピーダンス法による腹部内臓脂肪蓄積におよぼす生活習慣と食習慣の影響についての研究	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	仲森隆子, 村田和也, 門口紅, 西濱康太, 金児竜太郎, 井田諭, 藤原僚子, 高橋宏佳, 渡邊智之, 佐藤祐造	
52. 中高年糖尿病患者の運動療法継続1年後の下肢筋肉量変化: 健常者, 高血圧患者との比較から	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	岡田節朗, 古川理志, 池尻真希子, 高橋博幸, 佐藤祐造	
53. 日本人2型糖尿病患者におけるシタグリプチンの臨床効果	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	渡邊源市, 佐藤祐造	
54. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットにおける自発走運動と防風通聖散がインスリンシグナル伝達系のタンパク量に及ぼす影響	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	小林亮平, 長崎大, 宇野智子, 大澤俊彦, 佐藤祐造	
55. 市民公開講座「健康長寿」老化防止に役立つ運動: 生涯現役を目指して	学会発表	2013年5月	第67回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋	佐藤祐造	
56	実行委員	2013年5月	第67回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋	佐藤祐造	
57. 内分泌・代謝疾患	座長	2013年6月	第64回日本東洋医学会学術総会, 鹿児島	佐藤祐造	
58. 防風通聖散と身体トレーニングの併用が高脂肪食誘発インスリン抵抗性モデルラットに及ぼす影響	学会発表	2013年6月	第64回日本東洋医学会学術総会, 鹿児島	小林亮平, 宇野智子, 佐藤祐造	
59. 生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・脂質異常症)	講演会	2013年7月	第24回日本体力医学会スポーツ医学研修会, 東京	佐藤祐造	
60. 糖尿病・糖尿病合併症の予防―運動療法を中心に―	講演会	2013年7月	大学連携遠隔授業, 日進	佐藤祐造	
61. 健康長寿を目指して	講演会	2013年7月	なごや健康カレッジOB会, 名古屋	佐藤祐造	
62. 糖尿病の治療戦略と漢方	講演会	2013年7月	第23回 静清 漢方臨床談話会, 静岡	佐藤祐造	
63. 糖尿病の予防～栄養と運動からのアプローチ～	講演会	2013年7月	スギ薬局管理栄養士勉強会, 安城	佐藤祐造	
64. 糖尿病の治療: 食事・運動・薬物療法	講演会	2013年7月	NPO 名古屋臨床薬剤師研究会, 大垣	佐藤祐造	
65. 特別講演「糖尿病運動療法指導マニュアルを中心に」	講演会	2013年8月	第22回甲賀湖南糖尿病研究会, 甲賀	佐藤祐造	
66. ランチョンセミナー「アディポネクチン健診における日米の話題」	座長	2013年8月	第54回日本人間ドック学会学術大会, 浜松	佐藤祐造	
67. 糖代謝	座長	2013年8月	第54回日本人間ドック学会学術大会, 浜松	佐藤祐造	
68. 健康診断と糖尿病	健康講話	2013年8月	河村電器産業株式会社健康講話, 瀬戸	佐藤祐造	
69. 運動と健康づくり: メタボリックシンドロームを中心に	講演会	2013年9月	平成25年度日進市運動普及推進員・体操指導者養成講座, 日進	佐藤祐造	
70. 特別講演「糖尿病の運動療法をめぐる最近の話題」	講演会	2013年9月	第1回福岡西部生活習慣病運動療法研究会, 福岡	佐藤祐造	

71. 地域住民の災害への意識及び家庭の非常食に関する研究—栄養学的検討—	学会発表	2013年9月	第60回日本栄養改善学会学術総会, 神戸	森圭子, 佐藤祐造	
72. 愛知県糖尿病治療に関する調査報告	学会発表	2013年9月	第60回日本栄養改善学会学術総会, 神戸	宮地理恵子, 川崎和彦, 服部健治, 佐藤祐造	
73. 糖尿病の予防～栄養と運動からのアプローチ～	講演会	2013年9月	ユタカファーマシー管理栄養士勉強会, 大垣	佐藤祐造	
74. 糖尿病とその合併症	座長	2013年9月	第68回日本体力医学会大会, 東京	佐藤祐造	
75. Effect of pre/post rice consumption of milk and fermented soybean on postmeal glycemia and insulin responses in healthy students.	学会発表	2013年9月	20th International Congress of Nutrition, Granada, Spain	Sueda K, Sakai E, Uno T and Sato Y	

下村淳子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 養護教諭の研修に関する研究—自主的研修の参加に関する要因—	単著	2012年10月	学校保健研究第54巻4号		pp.294-306
2. 清潔に対する意識を高めるための指導方法に関する研究—高校生のトイレ利用に関する意識調査から—	共著	2013年3月	心身科学第5巻1号	大野志保, 下村淳子	pp.95-102
3. 研修の計画や自己評価に生かすことができるような「健康相談活動に必要な能力(力量)」の枠組みについての検討	共著	2013年5月	日本健康相談活動学会誌第8巻1号	金子寛子, 青嶋裕子, 浅田知恵, 五十嵐利恵, 石田妙美, 今野洋子, 小澤美奈子, 河田史宝, 北村米子, 黒田千代江, 後藤多知子, 後藤ひとみ, 佐藤さよ子, 佐藤順子, 下村淳子, 鈴木薫, 瀬口久美代, 田嶋八千代, 西川優子, 松原紀子, 丸田幸子, 山崎隆恵	pp.171-181
4. Study on the risk factors of injuries resulting in hospitalization in primary school children	共著	2013年8月	School Health 9	Shimomura J, Morita I, Nakagaki H, Ohsawa I, Sato Y	pp.33-44
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 退職養護教諭を活用した新規採用者研修の課題—教育委員会の研修担当者対象の調査結果をもとに—	学会発表	2012年10月	日本養護教諭教育学会第20回学術集会, 名古屋	下村淳子, 林典子	
2. 養護教諭志望学生の身体的接触抵抗と幼少時の両親との関係	学会発表	2012年10月	日本養護教諭教育学会第20回学術集会, 名古屋	石田妙美, 林典子, 下村淳子, 戸田須恵子, 井澤昌子	
3.	事務局長	2012年10月	日本養護教諭教育学会第20回学術集会, 名古屋		
4. 小学生の顔部負傷の特徴	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸市	野々山順也, 森田一三, 中垣晴男, 下村淳子, 大澤功, 佐藤祐造, 柘植紳平	
5. 養護教諭を目指す大学生のタッチングと親のスキンシップに関する研究(1)—タッチする側の検討—	学会発表	2012年11月	第54回日本教育心理学会, 那覇市	石田妙美, 林典子, 戸田須恵子, 井澤昌子, 下村淳子	

6. 養護教諭を目指す大学生のタッチングと親のスキンシップに関する研究(2)ータッチされる側の検討ー	学会発表	2012年11月	第54回日本教育心理学会, 那覇市	戸田須恵子, 林典子, 石田妙美, 井澤昌子, 下村淳子	
7. 児童生徒に対する養護教諭の関わり方に関する研究3ー養護教諭の対応に関する現地調査結果からー	学会発表	2013年3月	日本健康相談活動学会第9回学術集会, 札幌市	井澤昌子, 林典子, 戸田須恵子, 下村淳子, 石田妙美, 大野志保	
8. 養護教諭志望学生の精神健康度向上の試み	学会発表	2013年3月	日本健康相談活動学会第9回学術集会, 札幌市	高橋澄子, 石田妙美, 佃和奈, 下村淳子	
9.	一般口演座長	2013年3月	日本健康相談活動学会第9回学術集会, 札幌市		
10. 組織マネジメントと保健室経営	研修会講師	2013年8月	平成25年度愛知県立学校養護教諭10年経験者研修, 名古屋市		
11. 養護教諭を目指し続ける力	研修会講師	2013年8月	東海養護教諭教育研究会サマーセミナー, 名古屋市		

水藤弘史

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Cross-sectional change of ball impact in instep kicks from junior to professional footballers.	共著	2013年4月	Science and Football, VII:27-32.	Hironari Shinkai, Hiroyuki Nunome, Hiroshi Suito, Kouichiro Inoue, Yasuo Ikegami	p.6
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. なぎなた基本打突(振り上げ面・持ち替え面・持ち替え脛)の動作について	共著	2013年1月	スポーツ医・科学研究 MIE 20:9-12.	水藤弘史, 杉田正明	p.4
2. なぎなた選手の体力特性について	共著	2013年1月	スポーツ医・科学研究 MIE 20:13-16.	杉田正明, 水藤弘史, 八木規夫	p.4
3. 水泳研究の最新動向	単著	2013年6月	東海体育学会会報, No.86:9-10.		p.2
4. 競泳におけるキックスタートと脚筋力との関係	共著	2013年6月	東海体育学会会報, No.86:19.	水藤弘史, 池上康男, 布目寛幸	p.1
5. 平成24年度競泳ナショナル強化合宿(富士・鈴鹿)における科学サポート	共著	2013年8月	水泳・水中運動科学 11(1):7-11.	水藤弘史, 高橋篤史, 植松梓, 松井健	p.5
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 水泳研究の最新動向	講演会	2012年12月	東海体育学会シンポジウム(名古屋市)	水藤弘史	
2. 糖尿病患者の運動実施に与える影響因子に関する検討	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会	荒川聡美, 渡邊智之, 小林亮平, 服部雅人, 池山将成, 内藤正和, 水藤弘史, 長崎大, 大澤功, 齊藤満, 佐藤祐造	
3. 医歯薬看心身系の大学連携による生活習慣病予防教室の効果ー第4回東名古屋健康カレッジー	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会	服部雅人, 内藤正和, 小林亮平, 池山将成, 水藤弘史, 長崎大, 齊藤満, 佐藤祐造	

高田正義

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 技能五輪強化選手の大会直前カウンセリング	指導	2012年10月	2012豊田自動織機 個人カウンセリング②, 高浜	高田正義	
2. 技能五輪強化選手の大会直前カウンセリング	指導	2012年10月	2012豊田自動織機 個人カウンセリング③, 長野	高田正義	
3. 「プラス思考」について	主催	2012年10月	第109回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
4. 「集中力」について	主催	2012年11月	第110回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
5. 「イメージトレーニング」について	主催	2012年12月	第111回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
6. 全国大会成功プログラム	指導	2012年12月	富山第一高校全国大会直前メンタル講習会, 大府	高田正義	
7. 「セルフトーク」について	主催	2013年1月	第112回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 豊田	高田正義	
8. 「リラックス・サイキングアップ」について	主催	2013年2月	第113回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
9. 自分を探そう ―自我状態の把握―	演者	2013年2月	平成24年度 リーダースhipトレーニング, 大町	高田正義	
10. メンタルトレーニングとは何か	演者	2013年2月	平成23年度 新入生オリエンテーション, 日進	高田正義	
11. 試合における心理的準備	主催	2013年3月	第114回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
12. ラグビー選手におけるメンタルコーチングの効果	学会発表	2013年3月	日本ラグビー学会第6回大会, 大阪	高田正義	
13. 大学ラグビーの将来を考える―全国大学ラグビー選手権開催方式に着目して―	学会発表	2013年3月	日本ラグビー学会第6回大会, 大阪	寺田泰人, 岡本昌也, 高田正義	
14. メンタルトレーニングとは何か	指導	2013年4月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会①, 大府	高田正義	
15. 春だよ!	演者	2013年4月	平成25年度 愛知文教女子短期大学新入生特別講演, 稲沢	高田正義	
16. 「目標設定」について	主催	2013年4月	第115回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
17. 自信と目標設定のスキル	指導	2013年5月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会②, 大府	高田正義	

18. イメージのスキル	指導	2013年 5月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ③, 大府	高田正義	
19. 「決断力・判断力」について	主催	2013年 5月	第116回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
20. 心理的エネルギーの管理	指導	2013年 6月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ④, 大府	高田正義	
21. ストレスマネジメント	指導	2013年 6月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ⑤, 大府	高田正義	
22. 「自信」について	主催	2013年 6月	第117回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
23. 注意のスキル	指導	2013年 7月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ⑥, 大府	高田正義	
24. 「ゾーン・フロー」について	主催	2013年 7月	第118回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
25. メンタルトレーニングの実施	指導	2013年 8月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ⑦, 大府	高田正義	
26. 夏のメンタル2013	主催	2013年 8月	第119回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
27. 「ライフスキル」について	主催	2013年 9月	第120回メンタルトレーニング応用スポーツ心理学研究会, 日進	高田正義	
28. 試合前の心構え —本番を直前にして—	指導	2013年 9月	2013豊田自動織機 選手のためのメンタル・トレーニング講習会 ⑧, 大府	高田正義	

辰巳 寛

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 言語聴覚士による聴覚印象評価の信頼性について—『<発語失行症>話しことばの評価票』を用いた検討—	共著	2013年 3月	言語聴覚研究, 第10巻第1号	辰巳寛, 田中誠也, 杉山裕美, 早川統子, 山本正彦	pp.5-14
2. 言語聴覚臨床実習の実態調査—学生アンケートに基づく報告—	共著	2013年 3月	心身科学, 第5巻1号	甘利秋月, 辰巳寛, 山本正彦	pp.113-123
3. 神経心理学の古典的障害—今日の意味—Broca の診た最初の2例	共著	2013年 4月	神経内科, 第78号第4巻	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫	pp.412-420
4. 運動性失語症患者の QOL—SAQOL-39日本語版を用いた検討—	共著	2013年 4月	日赤リハビリ会誌, 第27巻第1号	黒崎芳子, 田口里香, 辰巳寛	pp.39-49
5. 失語・失行 What's new? 感覚性失語	共著	2013年 4月	Clinical Neuroscience, 第31巻第7号	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫	pp.779-783

6. Behavior management approach for agitated behavior in Japanese patients with dementia: a pilot study.	共著	2013年9月	Neuropsychiatr Dis Treat, 第9巻	Sato J, Nakaaki S, Torii K, Oka M, Negi A, Tatsumi H, Narumoto J, Furukawa TA, Mimura M.	pp.9-14
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 認知症の方とのコミュニケーション方法と音楽療法との接点	講演会	2012年10月	ぎふ音楽療法協会講演会, 名古屋	辰巳寛	
2. 失語症者の家族のコミュニケーション自己効力感と介護負担感および精神的健康との関係性について	学会発表	2012年11月	第36回日本高次脳機能障害学会大会, 宇都宮	辰巳寛, 山本正彦, 仲秋秀太郎, 波多野和夫	
3. 頭蓋咽頭腫術後に Korsakoff 症候群が残存した一例	学会発表	2012年11月	第36回日本高次脳機能障害学会大会, 宇都宮	浜田広幸, 永井健太, 辰巳寛, 山本正彦	
4. 運動性失語症者の QOL—SAWOL-39 日本語版を用いた検討—	学会発表	2012年12月	第39回日本赤十字リハビリテーション協会学術大会, 足利	黒崎芳子, 田口里香, 辰巳寛	
5. くも膜下出血後遺症による失語症を克服し, 職場復帰に奏功した1例	研修会	2013年1月	第1回あいち ST 合同リハビリカンファレンス, 名古屋	森玲子, 辰巳寛	
6. Global aphasia without hemi paresis の言語治療経過の詳細について	学会発表	2013年5月	第8回愛知県言語聴覚士協会学術集会, 名古屋	森玲子, 辰巳寛	
7. 転移性脳腫瘍にて運動性失語を呈する一例に対するリハビリテーションの一考察	学会発表	2013年5月	第8回愛知県言語聴覚士協会学術集会, 名古屋	甘利秋月, 辰巳寛	
8. 家庭訪問(巡回相談)により変化した ST の視点 —外来療育と家庭訪問における ST 介入の比較—	研修会	2013年5月	第2回あいち ST 合同リハビリカンファレンス, 名古屋	加藤陽子, 辰巳寛	
9. 転移性脳腫瘍にて運動性失語を呈する一例に対するリハビリテーションの一考察	研修会	2013年5月	第2回あいち ST 合同リハビリカンファレンス, 名古屋	甘利秋月, 辰巳寛	
10. Global aphasia without hemi paresis の一例に対する言語治療経過と言語治療内容の検討	研修会	2013年5月	第2回あいち ST 合同リハビリカンファレンス, 名古屋	森玲子, 辰巳寛	
11. 義歯の調整により食事形態が改善された2症例について ～高齢者施設における法人外歯科医師との連携～	学会発表	2013年6月	第9回岐阜県言語聴覚士会総会, 岐阜	甘利秋月, 阿部忍, 辰巳寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸	
12. 現場の病院が ST に求める事(特別講師 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科医長 藤谷順子先生)	主宰・座長	2013年6月	第1回愛知摂食機能障害リハビリカンファレンス, 名古屋	辰巳寛	
13. 重度コミュニケーション障害者に対する嚥下訓練	研修会	2013年6月	第1回愛知摂食機能障害リハビリカンファレンス, 名古屋	佐藤佳子, 辰巳寛	
14. Global aphasia without hemi paresis の一例に対する言語治療経過について	学会発表	2013年6月	第14回日本語聴覚学会大会, 札幌	森玲子, 関八洲彦, 奥村あずさ, 市橋有希子, 辰巳寛	
15. 認知症患者の口腔機能改善に関する調査 第3報: 老人保健施設利用者における認知機能と口腔状態・自発機能の関連調査	学会発表	2013年6月	第14回日本語聴覚学会大会, 札幌	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳寛, 井村英人, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	
16. 自閉症児に対する外来療育と家庭訪問における ST 介入の比較—巡回相談にて変化した ST 視点を中心に—	学会発表	2013年6月	第14回日本語聴覚学会大会, 札幌	加藤陽子, 中野美智子, 辰巳寛	

17. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第4報 ―合併症と言語症状―	学会発表	2013年7月	第53回日本先天異常学会大会, 大阪	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門, 片山和男	
18. 先天異常を有する患児に対する Telepractice (遠隔言語訓練) の有用性 第1報	学会発表	2013年7月	第53回日本先天異常学会大会, 大阪	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門, 片山和男	
19. Hyperlalia を呈した右半球損傷の一例	研修会	2013年8月	第3回あいち ST 合同リハビリカンファレンス, 名古屋	山本笑子, 辰巳寛	
20. 摂食・嚥下機能と認知機能との関連, および転帰時における嚥下機能の関連要因分析に関する研究	学会発表	2013年9月	第40回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会大会, 旭川	入米蔵麻千子, 松下尚子, 三宅達也, 細江浩典, 辰巳寛	

玉川達雄

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 運動プログラムの管理 運動のためのメディカルチェックの重要性	講演会	2012年12月	平成24年度健康運動指導士養成講習会 後期, 名古屋	玉川達雄	
2. 一般演題 ポスター「糖尿病療養指導(自己管理行動2)」	司会	2013年5月	第56回日本糖尿病学会, 熊本	玉川達雄	
3. アルコール・薬物・熱中症等への対策	講習会	2013年6月	平成25年度学生のための安全管理講習会	玉川達雄	

外ノ池隆史

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 私立大規模校における学生支援のあり方について第3報～入学時健康調査票を用いた健康支援～	学会	2012年11月	第58回日本学校保健学会	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 大澤功	
2. 統合失調症について	講演会	2012年11月	衣浦東部保健所家族教室	外ノ池隆史	
3. 女子大生の月経異常に関する研究(第1報)	学会	2013年9月	第56回東海学校保健学会	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 大澤功	

内藤正和

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 総合型地域スポーツクラブのNPO法人化とマネジメントの関連性に関する研究	単著	2013年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第5巻1号		pp.103-111
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. チームづくり・情報共有・コミュニケーション	講義	2013年2月	第43回愛知学院大学リーダーシップトレーニング	内藤正和, 高田正義, 境田雅章	
2. 自分の身体を知ろう	講義	2013年3月	愛知学院大学スポーツ推薦入学者オリエンテーション	内藤正和, 水藤弘史	
3. 企業スポーツと行政による連携事業の進め方に関する提案	講演	2013年3月	第4回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	
4. 糖尿病患者の運動実施に与える影響因子に関する検討	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会	荒川聡美, 渡邊智之, 小林亮平, 服部雅人, 池山将成, 内藤正和, 水藤弘史, 長崎大, 大澤功, 齊藤満, 佐藤祐造	
5. 医歯薬看心身系の大学連携による生活習慣病予防教室の効果—第4回東名古屋健康カレッジ—	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術集会	服部雅人, 内藤正和, 小林亮平, 池山将成, 水藤弘史, 長崎大, 齊藤満, 佐藤祐造	
6. 「みるスポーツ」振興に関する提案	講演	2013年6月	第5回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	
7. 来年度事業に関する提案	講演	2013年9月	第6回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	
8. 児童の発育状況と生活習慣との関連	学会発表	2013年9月	第60回日本栄養改善学会学術総会, 神戸市	森岡亜有, 内藤正和, 末田香里, 酒井映子	

早川統子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Diagnostic/Genetic Screening – Approach for Genetic Diagnoses and Prevention of Cleft Lip and/or Palate	共著	2013年12月	The Chinese Journal of Dental Research, 16(2)	Nagato NATSUME, Tomoki KATO, Toko HAYAKAWA, Hideto IMURA	pp.95-100
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 小児の構音障害(1): 基礎編	講演会	2013年4月	岐阜市教育研究所ことばの教室指導者育成研修	早川統子	
2. PILOT STUDY TO MAKE TELEPRACTICE FOR CLEFT PALATE SPEECH DISORDER WIDELY AVAILABLE	学会発表	2013年5月	12th International Congres on Cleft Lip/ Palate and Related Craniofacial Anomalies (Orlando, Florida, USA)	Toko Hayakawa, Hiyori Makino, Katsuhiko Minami, Satoshi Suzuki, Hideto Imura, Tomoki Kato, Nagato Natsume	

3. THERAPY TECHNIQUE COMBINED WITH THE TALENT DEVELOPMENT FOR CLEFT PALATE SPEECH	学会発表	2013年5月	12th International Congres on Cleft Lip/ Palate and Related Craniofacial Anomalies (Orlando, Florida, USA)	Toko Hayakawa, Chisato Nagura, Nagato Natsume	
4. COMPLICATIONS AND PREDICTIVE INDICATORS FOR SPEECH PROGNOSIS OF PATIENTS WITH VCFS	学会発表	2013年5月	12th International Congres on Cleft Lip/ Palate and Related Craniofacial Anomalies (Orlando, Florida, USA)	Toko Hayakawa, Nagato Natsume, Katsuhiko Minami, Satoshi Suzuki, Hideto Imura, Tomoki Kato, Hiyori Makino	
5. CLEFT LIP AND/OR PALATE CONGENITAL ORAL DISEASE WORLD GENE BANK	学会発表	2013年5月	12th International Congres on Cleft Lip/ Palate and Related Craniofacial Anomalies (Orlando, Florida, USA)	Nagato Natsume, Katsuhiko Minami, Hideto Imura, Tomoki Kato, Toko Hayakawa	
6. Session #14 Show & Tell: Speech Therapy and VPI (6th May, 2013)	座長	2013年5月	12th International Congres on Cleft Lip/ Palate and Related Craniofacial Anomalies (Orlando, Florida, USA)	Ann Kummer, Toko Hayakawa	
7. 口蓋裂言語訓練への我々の現状と展望—より良い訓練を目指して	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術大会(佐賀)	夏目長門, 名倉知里, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 牧野日和, 相原喜子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 石川拓, 齋藤直樹, 河合幹	
8. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究—第5報—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術大会(佐賀)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
9. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第3報—汎用にむけた予備的調査—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	

10. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第4報 一汎用通信機器の応用一	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	
11. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第3報 一言語訓練での傾向一	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 片山和男, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 大野磨弥, 名倉知里, 竹内朋也, 石川拓, 森明弘, 夏目長門	
12. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第3報 一言語訓練での傾向一	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 片山和男, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 牧野日和, 相原喜子, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 齋藤直樹, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 夏目長門	
13. 口蓋裂言語に関する臨床的研究 一口蓋裂言語と吃音発症について一	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	古川博雄, 井上知佐子, 早川統子, 岩田睦代, 森智子, 名倉知里, 牧野日和, 相原喜子, 伊藤美知恵, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 芝崎龍典, 鈴木聡, 外山佳孝, 井村英人, 藤原久美子, 新美照幸, 南克浩, 夏目長門	
14. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第4報 発話明瞭度2.5の口蓋裂言語と発話速度	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 井村英人, 井上知佐子, 相原喜子, 夏目長門	
15. 愛知学院大学歯学部附属病院原義治療外来部門における実態調査 第1報 2002-2012年度初診患者実態調査報告	学会 発表	2013年 5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	岩田睦代, 井上知佐子, 森智子, 早川統子, 相原喜子, 牧野日和, 名倉知里, 加藤大貴, 石川拓, 大野磨弥, 森明弘, 南克浩, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 鈴木聡, 伊藤美知恵, 夏目長門	

16. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第4報 一汎用通信機器の応用一	学会発表	2013年5月	第67回日本口腔科学会 学術集会(栃木)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 牧野日和, 相原喜子, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 齋藤直樹, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨邪, 森明弘, 夏目長門	
17. 口腔ケアと身体機能に関する研究 第1報 舌苔の有無と日常生活自立度との関連調査	学会発表	2013年6月	第10回日本口腔ケア学 会総合学術大会(福岡)	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	
18. 認知症患者の口腔機能改善に関する調査 第3報 老人保健施設利用者における認知機能と口腔状態・自発機能の関連調査	学会発表	2013年6月	第14回日本言語聴覚協 会総会・学術大会(札幌)	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳寛, 井村英人, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	
19. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第4報 一合併症と言語症状一	学会発表	2013年7月	第53回日本先天異常学 会総会・学術大会(大阪)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門, 片山和男	
20. 先天異常を有する患児に対する Telepractice(遠隔言語訓練)の有用性 第1報	学会発表	2013年7月	第53回日本先天異常学 会総会・学術大会(大阪)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門	
21. 小児の構音障害(2): 実践編	講演会	2013年8月	岐阜市教育研究所こと ばの教室指導者育成研 修	早川統子	
22. VCFS 患者の構音訓練効果定着に関する検討	症例発表	2013年10月	大阪府言語聴覚士協会 主催・症例検討会	早川統子	
23. Speech therapy for cleft palate speech in Japan	学会発表 (Invited Speaker)	2013年11月	the 8th Biennial World Congress, International Cleft Lip and Palate Foundation (Hanoi, Vietnam)	Toko Hayakawa, Nagato Natsume, Kazuo Katayama	
24. Speech 1 (26th November, 2013)	座長	2013年11月	the 8th Biennial World Congress, International Cleft Lip and Palate Foundation (Hanoi, Vietnam)	Toko Hayakawa, Sue Woodward	

古川博雄

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. NAM 施行時のテーピングによる頬部皮膚剥離の予防法 テープ-オン-テープ法の効果について	共著	2012年12月	日本小児口腔外科学会雑誌22巻2号	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 石川拓, 外山佳孝, 千葉博茂, 夏目長門	pp.120-123
2. Potential effects of milk intake on prevention of cleft palate.	共著	2012年12月	Aichi Gakuin Dent Sci. 25巻	Kato T, Toyama Y, Nagata E, Nagase Y, Furukawa H, Natsume N.	pp.1-4
3. Replication of genome wide association identified candidate genes confirm the role of common and rare variants in PAX7 and VAX1 in the etiology of nonsyndromic CL (P).	共著	2013年3月	Am J Med Genet A. Vol.161A	Butali A, Suzuki S, Cooper ME, Mansilla AM, Cuenco K, Leslie EJ, Suzuki Y, Niimi T, Yamamoto M, Ayanga G, Erkhembaatar T, Furukawa H, Fujiwawa K, Imura H, Petrin AL, Natsume N, Beaty TH, Marazita ML, Murray JC.	pp.965-972
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 東海三県における先天異常発生状況についての報告 2006年から2010年の先天異常発生の推移について	学会発表	2012年11月	第24回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	森田有美子, 藤原久美子, 加藤大貴, 鈴木聡, 石川拓, 新美照幸, 古川博雄, 大野磨弥, 夏目長門	
2. Telepractice の訓練成果と今後の展望	学会発表	2012年11月	第25回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	早川統子, 牧野日和, 新美照幸, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 夏目長門	
3. 口唇口蓋裂のよりよい治療にむけて 両側性口唇口蓋裂における PNAM と鼻孔リテーナー併用の効果	学会発表	2012年11月	第26回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 松川良平, 夏目長門	
4. 口蓋裂言語の発話速度による一般人の認知に関する研究(第二報) 発話明瞭度1.5と発話速度による音声認識調査	学会発表	2012年11月	第27回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	牧野日和, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 外山佳孝, 加藤大貴, 夏目長門	
5. 口腔ケア, 摂食嚥下指導を行い口蓋形成術を施行した Cornelia de Lange 症候群の1例	学会発表	2012年11月	第27回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	松川良平, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
6. 口唇口蓋裂児に対する哺乳・育児指導	学会発表	2012年11月	第27回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	田中智恵子, 古川博雄, 松川良平, 大野磨弥, 加藤大貴, 鈴木聡, 井村英人, 藤原久美子, 新美照幸, 夏目長門	
7. 小児の言語障害 吃音について 吃音臨床の基礎	シンポジウム	2012年11月	第27回日本小児口腔外科学会総会・学術大会	古川博雄	

8. 11q(-)症候群の遺伝学的解析	学会 発表	2012年11月	第27回日本小児口腔外 科学会総会・学術大会	加藤大貴, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	
9. 顎裂部に脂肪腫を認めた1例	学会 発表	2012年11月	第27回日本小児口腔外 科学会総会・学術大会	井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 加藤大貴, 久保勝俊, 前田初彦, 菅原利夫, 夏目長門	
10. 愛知学院大学口唇口蓋裂センターにお ける口腔ケア介入の実態調査	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	井村英人, 森明弘, 新美照幸, 藤原久美子, 南克浩, 古川博雄, 鈴木聡, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 夏目長門	
11. Apert 症候群を伴った口蓋裂患者の治療 経験	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	森明弘, 井村英人, 早川統子, 藤原久美子, 古川博雄, 南克弘, 新美照幸, 鈴木聡, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 夏目長門	
12. 口唇口蓋裂を認めた oral-facial-digital syndrome の一例	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	井村英人, 鈴木聡, 新美照幸, 藤原久美子, 南克浩, 古川博雄, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 森智子, 菅原利夫, 夏目長門	
13. 愛知学院大学歯学部付属病院 口唇口 蓋裂センターにおける口唇口蓋裂患者の実 態調査	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	大野磨弥, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 鈴木聡, 加藤大貴, 森明弘, 夏目長門	
14. 愛知学院大学口唇口蓋裂センターで治 療した上唇瘻孔の4例に関する検討	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 鈴木聡, 外山佳孝, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	
15. 口唇口蓋裂を伴った18p(-)症候群の1 例	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 長瀬好和, 夏目長門	
16. 正中裂に関する報告(第4報) Pai 症候 群の臨床分類について	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 井村英人, 長瀬好和, 夏目長門	
17. 正中裂に関する報告(第3報) Pai 症候 群の亜型を疑った先天性外鼻孔腫瘍の1例	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	
18. 正中裂に関する報告(第2報) 愛知学 院大学口唇口蓋裂センターで治療した「偽 」の正中裂7例について	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	
19. 正中裂に関する報告(第1報) 愛知学 院大学口唇口蓋裂センターで治療した「真 」の正中裂3例について	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	

20. Beckwith-Wiedemann 症候群に関する報告(第3報) 遺伝子解析とインプリンティングについて	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 井村英人, 鈴木聡, 外山佳孝, 古川博雄, 新美照幸, 藤原久美子, 夏目長門	
21. Beckwith-Wiedemann 症候群に関する報告(第2報) 顎顔面形態の成長変化について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	芝崎龍典, 加藤大貴, 古川博雄, 新美照幸, 鈴木聡, 浅見勲, 夏目長門	
22. Beckwith-Wiedemann 症候群に関する報告(第1報) 臨床経過を中心として	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 鈴木聡, 井上知佐子, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 夏目長門	
23. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究(第53報) 披裂パターンモデルを用いた家族内罹患について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 長瀬好和, 古川博雄, 井村英人, 外山佳孝, 鈴木聡, 新美照幸, 藤原久美子, 南克浩, 夏目長門	
24. 口唇口蓋裂に関する疫学的研究(第53報) 東海地区における2011年の調査を中心として	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	藤原久美子, 吉田和加, 加藤大貴, 鈴木聡, 井村英人, 古川博雄, 南克浩, 新美照幸, 夏目長門	
25. 口唇・口蓋裂に関する実験的研究(第127報) モンゴル国の乳製品摂取による口唇口蓋裂抑制効果について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 永田映里佳, 外山佳孝, 藤原久美子, 古川博雄, 鈴木聡, 井村英人, 夏目長門	
26. 口唇・口蓋裂発生に関する実験的研究(第126報) 本邦乳製品摂取による口唇口蓋裂抑制効果について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 永田映里佳, 外山佳孝, 藤原久美子, 古川博雄, 鈴木聡, 井村英人, 夏目長門	
27. OSAS を認めた口唇口蓋裂患者の治療マネージメント(第1報) 扁桃腺摘出術による OSAS の改善について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	加藤大貴, 芝崎龍典, 古川博雄, 井村英人, 浅見勲, 夏目長門	
28. 愛知学院大学歯学部附属病院言語治療外来部門における実態調査(第1報) 2002-2012年度初診患者実態調査報告	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	岩田睦代, 井上知佐子, 森智子, 早川統子, 相原喜子, 牧野日和, 名倉知里, 加藤大貴, 石川拓, 大野磨弥, 森明弘, 南克浩, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 鈴木聡, 伊藤美知恵, 夏目長門	
29. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究(第4報) 発話明瞭度2.5の口蓋裂言語と発話速度	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 井村英人, 井上知佐子, 相原喜子, 夏目長門	
30. 口唇口蓋裂患児に対する小児用経腸栄養食品の使用経験	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	大野磨弥, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 鈴木聡, 石川拓, 牧志祥子, 加藤大貴, 森明弘, 夏目長門	

31. モンゴル国における医療協力と学術調査報告	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	夏目長門, 吉田和加, 永田映里佳, 越路千佳子, 浅野和宏, 土肥豊, 泉さや香, 古川博雄, 鈴木聡, 加藤大貴, 早川統子, 今井裕, 香月武	
32. 口蓋裂言語に関する臨床的研究 口蓋裂言語と吃音発症について	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	古川博雄, 井上知佐子, 早川統子, 岩田睦代, 森智子, 名倉知里, 牧野日和, 相原喜子, 伊藤美知恵, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 芝崎龍典, 鈴木聡, 外山佳孝, 井村英人, 藤原久美子, 新美照幸, 南克浩, 夏目長門	
33. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告(第3報) 言語訓練での傾向	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	早川統子, 片山和男, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 大野磨弥, 名倉知里, 竹内朋也, 石川拓, 森明弘, 夏目長門	
34. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練(第4報) 汎用通信機器の応用	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	
35. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練(第3報) 汎用にむけた予備的調査	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	
36. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究(第5報)	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会総会・学術集会	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	

37. 口蓋裂言語訓練への我々の現状と展望 よりよい訓練を目指して	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	夏目長門, 名倉知里, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 牧野日和, 相原喜子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 石川拓, 齋藤直樹, 河合幹	
38. 口唇口蓋裂に関する遺伝子研究(第一 報) 遺伝子バンキングシステム	学会 発表	2013年 5 月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術集会	夏目長門, 吉田和加, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 早川統子, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 石川拓, 仲間錠嗣, 牧志祥子, 鈴木俊夫, 増田浩男, 芝崎龍典, 越路千佳子, 後藤尊広, 砂川元	
39. 愛知学院大学歯学部附属病院口腔外科 外来における口腔ケア介入の実態調査 —第1報—	学会 発表	2013年 6 月	第10回日本口腔ケア学 会総会・学術大会	古川博雄, 井村英人, 森明弘, 加藤大貴, 大野磨弥, 大河内ひろみ, 英祐子, 八木真里奈, 松下和子, 夏目長門	
40. 認知症患者の口腔機能改善に関する調 査 第3報 老人保健施設利用者における 認知機能と口腔状態・自発機能の関連調査	学会 発表	2013年 6 月	第14回日本言語聴覚協 会総会・学術大会	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳寛, 井村英人, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	

牧野日和

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 口から食べるを支援する 摂食嚥下の機能を維持するケア	共著	2013年 6 月	中央法規出版, おはよ う21(8月号)	牧野日和, 夏目長門, 井村英人, 伊藤功治	pp.11-27
2. 「口から食べる」を支えるケア 口から食べることの大切さ	単著	2013年 8 月	中央法規出版, おはよ う21(10月号)	牧野日和	pp.62-65
3. 「口から食べる」を支えるケア 全身の運動機能を維持させよう	単著	2013年 9 月	中央法規出版, おはよ う21(11月号)	牧野日和	pp.62-65
4. 「口から食べる」を支えるケア 口の機能を維持させよう	単著	2013年10月	中央法規出版, おはよ う21(12月号)	牧野日和	pp.62-65
5. 「口から食べる」を支えるケア 生きる力を維持させよう	単著	2013年11月	中央法規出版, おはよ う21(1月号)	牧野日和	pp.62-65
6. 「口から食べる」を支えるケア 口の動きをとりもどす	単著	2013年12月	中央法規出版, おはよ う21(2月号)	牧野日和	pp.62-65
7. 「口から食べる」を支えるケア のどの働きをとりもどす	単著	2014年 1 月	中央法規出版, おはよ う21(3月号)	牧野日和	pp.62-65
8. 「口から食べる」を支えるケア 胃ろうから常食へ「チーム力でとりもどし」	単著	2014年 2 月	中央法規出版, おはよ う21(4月号)	牧野日和	pp.62-65
9. 「口から食べる」を支えるケア 「みとり」期は命を学ぶ機会	単著	2014年 3 月	中央法規出版, おはよ う21(5月号)	牧野日和	pp.62-65

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 口蓋裂言語訓練への我々の現状と展望 —より良い訓練を目指して—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	夏目長門, 名倉知里, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 牧野日和, 相原喜子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 鈴木聡, 藤原久美子, 井村英人, 石川拓, 齋藤直樹, 河合幹	
2. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 —第5報—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 牧野日和, 岩田睦代, 藤原久美子, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
3. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第3報 —汎用にむけた予備的調査—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	
4. 遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第4報 —汎用通信機器の応用—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 名倉知里, 竹内朋也, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 石川拓, 加藤大貴, 大野磨弥, 森明弘, 齋藤直樹, 夏目長門	
5. 愛知学院大学言語治療外来部門におけるVCFS患者の言語治療に関する報告 第3報 —言語訓練での傾向—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	早川統子, 片山和男, 井上知佐子, 森智子, 牧野日和, 相原喜子, 岩田睦代, 新美照幸, 南克浩, 古川博雄, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 大野磨弥, 名倉知里, 竹内朋也, 石川拓, 森明弘, 夏目長門	
6. 口蓋裂言語に関する臨床的研究 —口蓋裂言語と吃音発症について—	学会発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	古川博雄, 井上知佐子, 早川統子, 岩田睦代, 森智子, 名倉知里, 牧野日和, 相原喜子, 伊藤美知恵, 加藤大貴, 森明弘, 大野磨弥, 芝崎龍典, 鈴木聡, 外山佳孝, 井村英人, 藤原久美子, 新美照幸, 南克浩, 夏目長門	

7. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第4報 発話明瞭度2.5の口蓋裂言語と発話速度	学会 発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 井村英人, 井上知佐子, 相原喜子, 夏目長門	
8. 愛知学院大学歯学部附属病院原義治療外来部門における実態調査 第1報 2002-2012年度初診患者実態調査報告	学会 発表	2013年5月	第37回日本口蓋裂学会 総会・学術大会(佐賀)	岩田睦代, 井上知佐子, 森智子, 早川統子, 相原喜子, 牧野日和, 名倉知里, 加藤大貴, 石川拓, 大野磨弥, 森明弘, 南克浩, 新美照幸, 古川博雄, 藤原久美子, 井村英人, 鈴木聡, 伊藤美知恵, 夏目長門	
9. 口腔ケアと身体機能に関する研究 第1報 舌苔の有無と日常生活自立度との関連調査	学会 発表	2013年6月	第10回日本口腔ケア学 会総合学術大会(福岡)	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	
10. 認知症患者の口腔機能改善に関する調査 第3報 老人保健施設利用者における認知機能と口腔状態・自発機能の関連調査	学会 発表	2013年6月	第14回日本語聴覚協 会総会・学術大会(札 幌)	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳寛, 井村英人, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 宮治まゆ子, 夏目長門	
11. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第4報 一合併症と言語症状一	学会 発表	2013年7月	第53回日本先天異常学 会総会・学術大会(大 阪)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門, 片山和男	
12. 先天異常を有する患児に対する Telepractice(遠隔言語訓練)の有用性 第1報	学会 発表	2013年7月	第53回日本先天異常学 会総会・学術大会(大 阪)	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門	

山本正彦

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 言語聴覚士による聴覚印象評価の信頼性について:「<発語失行症>話しことばの評価票」を用いた検討	共著	2013年3月	言語聴覚研究10巻1号	辰巳寛, 田中誠也, 杉山裕美, 早川統子, 山本正彦	pp.5-14
2. 言語聴覚臨床実習の実態調査	共著	2013年3月	心身科学5巻1号	甘利秋月, 辰巳寛, 山本正彦	pp.113-123
3. Broca が診た最初の2例	共著	2013年4月	神経内科78巻4号	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫	pp.412-420

4. Replication of genome wide association identified candidate genes confirm the role of common and rare variants in PAX7 and VAX1 in the etiology of nonsyndromic CL(P).	共著	2013年 5 月	Am J Med Genet A. 2013 May;161A(5)	Butali A, Suzuki S, Cooper ME, Mansilla AM, Cuenco K, Leslie EJ, Suzuki Y, Niimi T, Yamamoto M, Ayanga G, Erkhembaatar T, Furukawa H, Fujiwawa K, Imura H, Petrin AL, Natsume N, Beaty TH, Marazita ML, Murray JC.	pp.965-72
5. 感覚性失語	共著	2013年 7 月	Clinical Neuroscience Vol.31 No.7	辰巳寛, 山本正彦, 波多野和夫	pp.779-783
6. Tongue pressure as a novel biomarker of spinal and bulbar muscular atrophy (SBMA)	共著	in press	Neurology	Mano T, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Araki A, Watanabe H, Tanaka S, Yamamoto M, Sobue G	

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 失語症の家族のコミュニケーション自己効力感と介護負担感および精神的健康との関係性について	学会発表	2012年11月	第36回日本高次脳機能障害学会学術総会, 宇都宮	辰巳寛, 山本正彦, 仲秋秀太郎, 波多野和夫	
2. 頭蓋咽頭腫術後に Korsakoff 症候群が残存した1例	学会発表	2012年11月	第36回日本高次脳機能障害学会学術総会, 宇都宮	浜田広幸, 辰巳寛, 山本正彦	
3. Tongue pressure as a novel biomarker of spinal and bulbar muscular atrophy (SBMA)	学会発表	2013年 5 月	第54回日本神経学会学術大会, 東京	Mano T, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Araki A, Watanabe H, Tanaka S, Takatsu J, Yamamoto M, Sobue G	
4. Distinct acoustic features in spinal and bulbar muscular atrophy patients with laryngospasm	学会発表	2013年 5 月	第54回日本神経学会学術大会, 東京	Tanaka S, Banno H, Katsuno M, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Mano T, Araki A, Watanabe H, Takatsu J, Yamamoto M, Sobue G	
6. 愛知学院大学言語治療外来部門における VCFS 患者の言語治療に関する報告 第4報 一合併症と言語症状一	学会発表	2013年 7 月	第53回日本先天異常学会学術集会, 大阪	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 鈴木聡, 加藤大貴, 藤原久美子, 古川博雄, 山本正彦, 夏目長門, 片山和男	
7. 先天異常を有する患児に対する Telepractice(遠隔言語訓練)の有用性 第1報	学会発表	2013年 7 月	第53回日本先天異常学会学術集会, 大阪	早川統子, 井上知佐子, 森智子, 岩田睦代, 相原喜子, 牧野日和, 古川博雄, 山本正彦, 辰巳寛, 新美照幸, 南克浩, 藤原久美子, 鈴木聡, 井村英人, 加藤大貴, 夏目長門	

渡辺輝也

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1.The development of a methodology for teaching beginners the flop technique, formulated as a result of academic exchanges between Germany and Japan	単著	2012年10月	Japan und Deutschland in der Globalisierung des Sports und der Sportwissenschaft, Hilltop Press Tokyo	Ichiba, T. (Hrsg.)	pp.93-107
2. 走高跳の技術トレーニングに関する運動学的一考察：男子大学生選手における技術修正プロセスの1例を対象として	共著	2012年12月	体育学研究, 57巻2号	渡辺輝也, 守田俊啓	pp.683-698
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Die Verbesserung der Anfängermethodik für den Flop durch Fallstudien	学会発表	2012年10月	Das 8. Deutsch-Japanisches Symposium 2012, Münster (Deutschland)	Teruya Watanabe	